

後輩たちへのエール！ その61

2022年4月11日

目標を達成するために

◇今回は、原亜由子さん(お茶の水女子大学舞踊教育学コース)からのメッセージです！

こんにちは。2018年度卒業生の原亜由子です。お茶の水女子大学舞踊教育学コースの4年生で、“舞踊”、ダンスについて学んでいます。私の進路先は特殊な学問ですが、私の体験が皆様の進路選択や大学生活に少しでも役立てば、と思い書かせていただきます。

～高校生活～

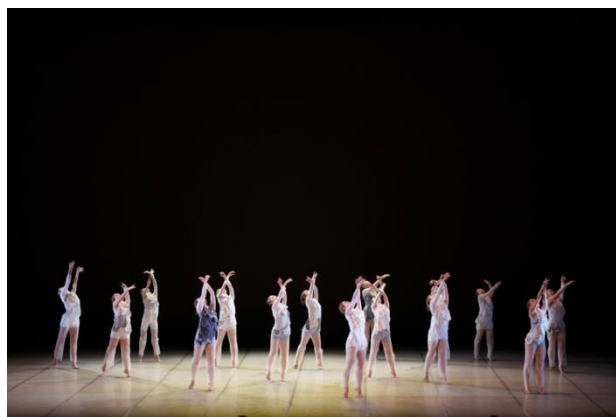
5歳でダンスを始めました。地元のイベントで踊り、ミュージカルに出演する中で、ダンスが上手くなりたくて、クラシックバレエやコンテンポラリーダンスを新たに始め、気がついたら様々なジャンルを習っていました。

お茶大の舞踊科を知ったのは、中学3年生のときです。憧れの地“東京”で、“ダンス”ができて、ついでに大学生にもなれる！しかも国立、と四拍子揃った環境に、ここしかない!!と虜になりました。高校に入ってから、第一志望の欄はお茶大舞踊科しか書いたことがありません。まず、このようにここしかない！と思える志望校に出会うことは珍しいかもしれません。ですが、ざっくりときた志望校(国立、私立、地域)もしくは志望の方向性を、周りの人に宣言する！その志望校に受かった姿や進学した自分の姿を詳細に想像する！こと。これを、目標を達成するための一つの方法としておすすめします。まずは可能ならば、目標を友人や、家族、先生に宣言してみてください。自分は宣言した…というプレッシャーがあると頑張れるのかなと思います。目標はいつだって修正可能です。だからこそこれが私の目標だ、と区切りをつけること、言葉にすることが大切だと私は思っています。しかしこれはハードル高い…と感じる方もいますよね。その場合は志望する理由を、できるだけたくさん挙げて、それが実現したつもりで詳細にイメージを膨らませること！をおすすめします。

私は志望理由と大学の勉強が深く関連していましたが、もちろんそれ以外にも理由はたくさんありました。例えば、有名なダンススタジオでレッスンを受ける。東京にいる憧れのダンサーに会う。憧れの場所で憧れのカフェ店員になる。などを思い描いていました。マインドマッピング状に広げた理由を、まるで叶ったように想像したらワクワクしませんか？なんとなく勉強することは難しいです。なぜ勉強するのかを自分の希望とリンクさせて、意識しておくことは、心折れそうな時も、今頑張ればあれも出来るしこれも楽しめる、ときっと支えになってくれます。

ここまで話すと根性と妄想で進学したかのようなのですが、高校での様々な活動経験が糧になっています。特にSGHの活動は、自ら学ぶ、答えのない問いを考える練習になりました。私は、2年生から3年生の7月まで、LGBTQについて研究・発表などの活動をしました。このトピックを選んだ理由は、お茶の水女子大学がジェンダー教育・研究が盛んで、憧れの大学が取り組んでいることに興味を持ったからです。こう書くと戦略的ですが、この活動が楽しかった経験が、大学で勉強してみたいというワクワク感につながりました。知識を得た先に、それを踏まえて自分がどう考えているのか言語化する作業、それを他者に伝える機会を与えていただいたことは、大学での学び方や（私は文系で特に人文学系の学問）、舞踊作品を創ることに繋がっていると感じています。

最後に、大学生活がどんなに楽しいか、お伝えしたいです。まずは、楽しいと思える環境で学べることに感謝しています。実際、大学生活の半分以上は、コロナ真っ只中…になるようになっています。ですが、充実した時間が送れていると自負する理由は、人との出会いが楽しくてしょうがないからです。大学の同期や先輩後輩はじめ、同じダンススタジオに通う方や、バイト先、サークル先、また課外



2021 お茶の水女子大学創作舞踊公演



活動を通して
出会った方、

などなど、いろいろな人の生き方が見られる東京での生活が大好きです。色んな人の生き方を見ていたら、自分はどんな大人になりたいか、なれるのか、選択肢が広がっていききました。もっともっと色んな人を観察してから決めようと思ひ、大学院に進むことにしました。

本当に生き方は多様で、みんなとても面白いのでいいところ取りをして生きていくための観察期間です。これから大学生になるみなさんと、ちょっと長めに大学生をする私がもっともっと楽しい大学生活を送ることができますように。みなさんのこれからのワクワクでいっぱいであることを心から願っています。

2021 水コン

ジェンダー問題についてレポート作成や
発信をしました。